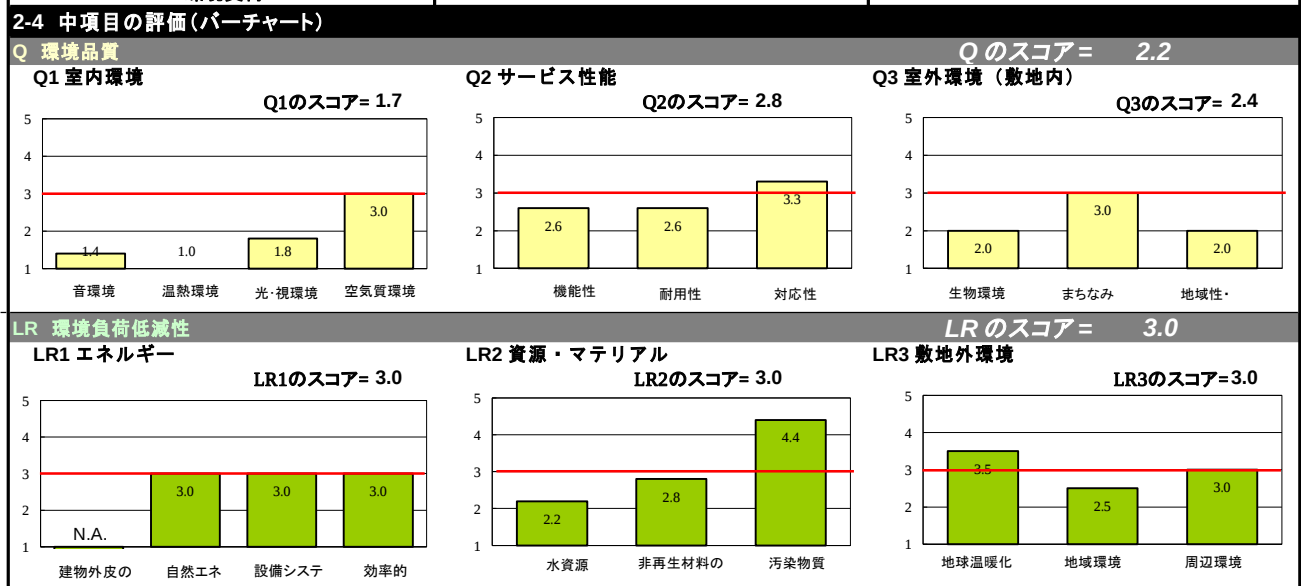
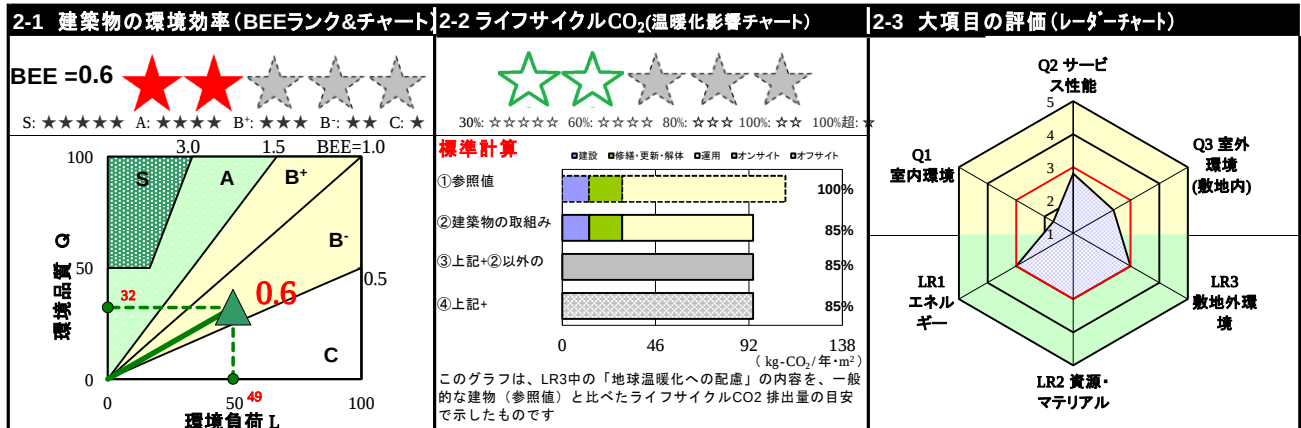


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	岸本建設株式会社本社新築工事	階数	地上5F	
建設地	大阪府摂津市昭和園	構造	RC造	
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	90 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年9月15日	
敷地面積	1,240 m ²	作成者	大澤秋雄	
建築面積	488 m ²	確認日	2025年9月15日	
延床面積	2,231 m ²	確認者	大澤秋雄	



3 設計上の配慮事項		
総合 法的な取り組みを遵守し、より良い環境となるよう、品質、負荷、効率の面で努力する。		その他 工事中の騒音の低減に心がける。
Q1 室内環境 断熱性、遮音性、シックハウスへの配慮。	Q2 サービス性能 大阪府福祉のまちづくり条例の遵守 内装デザインによる快適性の向上。	Q3 室外環境(敷地内) 摂津市都市景観まちづくり要綱の遵守。道路、河川沿いの緑化等、まちなみへの配慮。
LR1 エネルギー 省エネ基準の適合。	LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料の使用回避。	LR3 敷地外環境 摂津市の指導要綱を遵守し、周辺環境に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		岸本建設株式会社本社新築工事								
建設地		大阪府摂津市昭和園								
用途／区分		事務所								
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B－		
①	CO2削減							4		
②	みどり・ヒート アイランド対策							2		
③	断熱性能							評価対象外		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外						評価対象外	
④	エネルギー消費性能							3		
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外						評価対象外	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分							3	
⑤	自然エネルギー直接利用							—		
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
	エネルギー消費量の報告							報告しない		
【評価項目】										
項目	評価内容						スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						3.5	4		
② みどり・ヒートアイランド対策										
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						2.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上						2.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善						2.0			
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制									
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						3.0	3		
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない	報告しない		
その他										
先進的技術の導入	技術の名称				考慮事項					
特に配慮した事項										